

# ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第82号

新潟県中央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2015.8.1

## —高橋小一郎先生追悼号—



### 追悼 高橋小一郎先生

OB会会長 齋藤 勲（S41年卒1回生）

斎場で見ると高橋先生の顔が小さくなった。別れの時が来たと思った。

気働きが出来、その才能を愛された渡辺五郎、長谷川一良、吉田光二氏等と違い劣等生の小生のことはいつもはらはらして見ておられたらと思う。「1回生は苦勞を知らないアンニャッコ」といつもたしなめられたものだ。卒業以来、人生の節目ふしめで随分と迷惑もおかけした。

ネパールへ5年連続で出かけた時は呆れた声で電話を頂いた。

笹岡へ越されてからは、栗ヶ岳へ登った帰りに時間が許せばお寄りして一服させていただくのが私の習わしだった。

雑誌「山と溪谷」に私の短歌が掲載されたのを見つけられて喜んで葉書を下された。

OB会50周年谷川ハイクの折、雨の中、一ノ倉沢出合まで出かけたみんなを先生とバスの中で待っていた。手の不自由な先生の為に、さっきまで先生が使っていた折り畳み傘を畳んで差し上げた。畳まれて私から返された傘を一目見た先生は、何も言わずもう一度、もっとキチンと折り目どおり畳み始められた。折り畳み傘はこうして畳むのだと無言で言っているようだった。あれには本当に参った。思い出すと今でもグウの音も出ない。

近年は年に数回、手紙でのやり取りが楽しみであった。いつも母校山岳部のことを気にかけて最後に一言書き添えられていた。その手紙ももう来ない。

人生も山登りも、良く考えれば色々な選択肢や楽しみ方が無限にあるのだと身をもって教えて頂いたと思う。

高橋小一郎先生、長い間ありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。

とまきそうの咲く霧の中師は逝けり

合掌

—HP 掲示板に掲載した訃報の記録—

**7月21日 高橋小一郎先生がご逝去されました。** 7月21日 掲示（吉田光二）

2015年7月21日、少雨だった越後平野に梅雨明けが報じられました。

そのすぐ後、14時7分に肺炎でご逝去されたという悲報が入りました。88歳でした。

ご高齢になられてからは、夜の会への出席を避けられておられましたのに、今年と同窓会総会には早々と「出席」のお返事をいただき、当日はお元気にご出席くださいました。

その前の「退職者の会」では、風邪で大事をとって欠席した私を案じられて「大丈夫らかね？」とお電話をいただき、恐縮したばかりでした。

若くして療養生活となられ、その後に療養生活となった私と、「若く病気になった者は一番長生きする」と慰めあっていました。

先生は 88 歳、米寿です。天寿まっとうだったのではないかと思います。  
きっと同窓会総会には多くの教え子にお別れの挨拶に来られたのですね。  
OB会総会は 11 月 14 日で寒く、待ちきれなかったようです。  
長い間、お世話になりました。  
高橋先生のご冥福をお祈りいたします。(合掌)

### 高橋小一郎先生の葬儀は以下に行われます。7月21日掲示(吉田光二)

通夜:7月23日(木)19時から 告別式:24日(金)10時から  
会場はいずれも善地院 月岡式場(ぜんちいんつきおかしきじょう)  
住所 新潟県三条市月岡 1-7-40  
電話 0256(35)0051

一昨年のOB会総会で山岳部創設 50 周年を記念して感謝状をお渡しした時の姿が思い出されます。  
OB会から弔電と香典をお届けします。  
問い合わせは吉田光二 090-4943-5927 まで。

### 高橋先生にささげる弔電です。7月23日掲示(吉田光二)

山岳部創設期から今日まで、山岳部をご指導いただきありがとうございます。先生  
先生の教えは、いまだ現役部員に脈々と受け継がれています。  
これからも、OBと部員を見守ってください。  
ご冥福をお祈りいたします。  
新潟県央工業高校山岳部OB会

### 高橋先生の葬儀が滞りなく終了しました。7月24日掲示(吉田光二)

7月23日19時からの通夜式。OB会からの供花が式場に飾られるなか、通夜式がすすめられました。  
OBでは、斎藤勲会長、三村章司、長谷川晴一、長谷川一良、吉田光二、小森行也、熊谷善和、阿部孝幸、高山光の9名が参列。  
山岳部関係の旧職員・職員では、小倉勝、本間久雄、増田繁雄、今井直樹、石川恵子の各先生が参列されました。  
喪主からは、7月14日に呼吸困難で緊急入院したが誤嚥性肺炎が進行していたこと。酸素マスクをしながらも最後まで意識明瞭で親族に感謝の言葉を発せられていたこと、などが説明されました。  
翌24日の告別式は、斎藤勲会長、三村章司、長谷川一良、吉田光二が代表参列し、さらに小倉勝、本間久雄、若島正毅、増田繁雄の先生方が参列して行われ、出棺の後、旧宅のある市内・大町、秀峰クラブハウス、笹岡の自宅を経由して三条斎場で昇天されました。  
法名は「釈諦念」(たいねん)ー真理をさとる心ー  
喪主は 955-0152 三条市笹岡 1504-17 高橋哲朗 0256-46-4798

### 高橋先生の生涯の思い出の地。7月30日掲示(吉田光二)

高橋先生の終活ノートに生涯の思い出の地が四か所記載されていました。  
剣岳、白馬岳、蓮華温泉、雷鳥沢です。  
私のように健康に問題があっても蓮華温泉と雷鳥沢は行けそうです。  
もし、足を運ぶ機会がありましたら、黙祷をささげてください。

## 今年のOB会総会は追悼総会に ー11月14日(土)ー

1月26日に事務局会議を開いて今年の総会日程を決定し、HPに告知しています。  
会場は旧下田村塩ノ淵にある「ウォータープレイかわせみ」です。  
ぜひ、ご予約ください。

### 追悼集原稿の募集

HPに掲載するデジタル追悼集を作ります。(希望者にはプリントして送付します)

①追悼文・思い出：字数は自由。OB会HPの「ご連絡・お問い合わせ」ページからのメールで送って下さい。もちろん手書き原稿もOKです。その際は、下記へお送りください。

②高橋先生の思い出の写真：デジタルアルバムにします。1人1・2点。できたら撮影年月日、場所、説明をつけてください。HPからメール添付もしくはプリントを下記にお送りください。

以上の〆切は、8月末とします。

955-0823 三条市東本成寺13-1 新潟県央工業高校同窓会事務局 吉田光二宛  
(プリント版希望も同様にご連絡ください)

## 今年の現役の活動 (HPに既報)

ボルダーリング・ボードが完成しました。4月30日 吉田光二

現役からの要請を受けて事務局で検討してきたボルダーリング・ボードが完成しました。

OB会の30周年記念で「クライミング・ボード(5m×3m)」は持っていましたが、普段の管理に問題があり近年解体していました。

計画は、それを活用して、100周年記念で建設された総合トレーニング場二階の壁にボルダーリング・ボードを作ろうというもの。

費用はOB会が出し、同窓会名義で県に寄付するという方法を取り、県の正式な許可を得ました。(これによって万一の時は県が責任者になる)

写真一枚目は4月22日夜、斎藤会長、広瀬事務局長、平出先生、帆刈先生、吉田の5人がホールド・セット作業。この日はホールド限定のAコースをセット。

なかなか難しいですよ。

写真二枚目は4月23日放課後、現役部員と平出先生によるその他のホールドセットと初練習。

写真三枚目は完成後の現役部員と平出先生。

という具合に完成して使い始めました。

ボードはW11730mm×H1820mm(一部2660mm)。ホールド数は120個です。総工事費は約10万円です。ぜひ、遊びに来てください。



県総体報告。6月9日 平出 厚

6月4日～6日糸魚川白鳥山での県総体が行われました。

大会に向けて、先輩たちから設営指導をしてもらい、様々なコツを教え頂きました。忙しいなか、駆けつけてくれたOBの皆さんに部員顧問一同感謝しています。  
坂田峠を起点に白鳥山まで往復し、梅海新道を親不知まで下るコースを1年生も交えたチームで大会に臨んできました。結果は連覇には届かず3位となりました。  
様々に応援して下さっているOBの皆さんの熱意に応えることができず、本当に申し訳ありません。  
また、最初の1歩を踏み出せるように、改めて日頃の登山、部活動から丁寧に取り組みたいと感じています。  
まずは、6月19日～21日長野県蝶ヶ岳で行われる北信越大会に向けて部員一同がんばっています。  
今後も変わらずご支援下さいますように、よろしくお願い申し上げます。

### 北信越大会報告。6月22日 平出 厚

6月19日～21日長野県蝶ヶ岳での北信越大会に選手4人と帆刈監督が出場してきました。結果は上位三校に与えられる優秀賞を頂くことが出来ました。  
徳沢から長尾尾根を蝶ヶ岳へ上り、横尾分岐から下山、徳沢に戻る周回コース。寒気の影響もあり天気はわるく、せっかくの展望は下りで少しかげヶ岳が見えたぐらいだったようです。今回の大会に向けても、卒業生からのご支援感謝いたします。  
次は夏合宿に向けてしっかりとした登山が出来るよう準備していき、そして来年に向けて活動を続けていきたいと考えています。  
北信越に向けての応援ありがとうございました。

### 夏合宿について7月13日 平出 厚

夏合宿に向けての強化練習として、7月3日加茂市水源池に幕営し、4日粟ヶ岳山頂までメインザックでの山行を行ってきました。  
出発直前に雨となり雨具を着て出発。登山口あたりでは足下の蛭が気になりました。第1ベンチで雨はあがり、暑くなく登りやすい山行だったと思います。予定の行動を全員で終えることが出来ました。  
夏合宿は8月9日から3泊4日。  
蓮華温泉を起点に白馬岳、朝日岳の周回コースを以下の通りの計画です。

8月9日(日) 7:00 学校発 11:00 蓮華温泉発 15:00 白馬大池山荘着 (泊)  
10日(月) 5:00 白馬大池山荘発 7:30 小蓮華山 10:00 白馬頂上宿舎着  
11:00 白馬三山サブ行動 14:00 白馬頂上宿舎着 (泊)  
11日(火) 5:00 白馬頂上宿舎発 9:00 雪倉岳 11:30 朝日岳水平道分岐 14:00 朝日小屋着 (泊)  
12日(水) 5:00 朝日小屋発 6:15 朝日岳 14:00 小蓮華温泉着 15:00 蓮華温泉発 学校着 18:00

新潟県標高1位、2位の小蓮華山、雪倉岳、今年の県総体の会場になった梅海新道の出発点朝日岳を巡り、山を満喫し、力をつけてきたいと思っています。

追伸

日程が合うOBの皆さん、県央工 石川・平出までご連絡下さい。  
夏合宿に同行して頂ければ、部員達には刺激になり、OBから指導して頂くよい機会とも思います。お忙しい時期と思いますが、もしよろしければありがたいです。

### —事務局より編集後記にかえて—

インターハイ出場がならなかった今年は、カンパ要請号を発行しないで夏山合宿の報告を葉書でしようと思っていたところに高橋先生の訃報が入りました。

すぐにメール通信で連絡したものの、登録していないOBも多く、この号を急いで発行することにしました。

少なくともお盆前に届けたいと。

期せずして山岳部の夏山合宿は高橋先生の「生涯の思い出の地」の一つである白馬岳です。現役は頂上で黙祷をささげる予定です。会長も同行を検討中です。ぜひご参加ください。

また、高橋先生の訃報を報じる三條新聞を印刷して同封しました。退職年などに誤りがありますが、高橋先生を偲ぶ資料にしてください。(作成・吉田光二)

